2022.4

わくわくの郷

吹田市自然体験交流センター

プログラム集

〒565－0873　吹田市藤白台5－20－1

TEL　06－6872－0713　FAX　06－6871－7747

HP：https://wakuwaku-suita.com

はじめに（このプログラム集を有効に使うために、プログラム企画について）

このプログラム集は、利用される団体の皆さんが（子どもたちの育成のために）プログラムを企画する際の参考になることを目的に、編集しています。野外活動（自然体験）は、主催する皆さんが目的に合わせて企画（プログラム編成）しますが、活動はあくまでも目的を達成するための手段に過ぎません。

この自然体験交流センターをどのような目的（ねらい）で利用するかによって、同じ野外炊事やキャンプファイアというプログラムであっても展開を変える必要があります。また、すべての活動（生活プログラムも含む）がつながっています。一つ一つの活動をつないで、企画することがプログラム編成と考えています。

例えば、子どもたちの交流や仲間作りが主目的の場合、参加者全員が仲良くなることは難しいので、通常は活動グループ中心に仲間作りを考えます。そのため、例えば食事の場合、①給食、②弁当、③野外炊事などの選択肢から、グループ中心の展開を考えて実施しなければ、グループのコミュニケーションは進みません。

つまり、給食であってもグループで食事準備をし、食事をし、後片付けもする展開は可能です。また、野外炊事でもグループで食事を作り、食器洗いや火の始末まで展開することが、グループにコミュニケーションを増加させることにつながります。大人が必要以上に手伝わず見守ることが大切です。どこまで子ども達でさせるかなど、どういう風に展開するかが、目的のためには大切と考えています。子どもたちにも役割を与えたり、グループで相談したりする時間も含めて余裕を持ってプログラムを組んで下さい。活動の詰込めは、子どもたちを時間で追いやったり、早くしろと急き立てたる結果になり、大人も疲れたり、子供も怒られて楽しめない結果に終わることがあります。

ただ、野外炊事の後に、キャンプファイアを計画し、その時にスタンツ（出しもの）をグループで考え練習するなどを考慮しているなら、食事時間を短くするために、大人が必要な分だけ手伝うことも考えられます。あくまでもそのねらいによって、また日頃の子ども達の状況や年齢などによって、展開を考慮することをお願いします。

以上のような観点からプログラムは生活（就寝やトイレ、お風呂などの生活）も含めてすべてにわたります。事前の下見とともに、わくわくの郷のスタッフによく相談され、無理のない安全で楽しいプログラムを企画・展開されることを願います。

吹田市自然体験交流センター

【 プ ロ グ ラ ム 集 】

ハイキング	❀	公園であそ歩（ポイント探し）・・・・・・・・・	１
ラリー	❀	目指せわくわくの郷（フォトラリー）・・・・・・	２
	❀	竹林浴ハイキング（フォトラリー）・・・・・・・	３
	❀	箕面大滝ハイキング・・・・・・・・・・・・・・	４
	❀	勝尾寺ハイキング・・・・・・・・・・・・・・・	５
	❀	わくわくの丘ハイキング・・・・・・・・・・・・	６
ネイチャー	❀	自然観察路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	７
	❀	自然観察ビンゴ・・・・・・・・・・・・・・・・・	８
	❀	星空ウォッチング・・・・・・・・・・・・・・・・	９
つどい	❀	キャンプファイア・・・・・・・・・・・・・・・・	１０
	❀	キャンドルファイア・・・・・・・・・・・・・・・	１１
クラフト	❀	杉焼板クラフト　かべかけ・・・・・・・・・・・・	１２
	❀	杉焼板クラフト　キーホルダー・・・・・・・・・・	１３
	❀	まが玉クラフト・・・・・・・・・・・・・・・・・	１４
	❀	Ｍｙ箸クラフト・・・・・・・・・・・・・・・・・	１５
	❀	バードコールクラフト・・・・・・・・・・・・・・	１６
	❀	森のクラフト・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１７
	❀	マイしおりクラフト・・・・・・・・・・・・・・・	１８
	❀	森のエコバック・・・・・・・・・・・・・・・・・	１９

ホームページ

公園であそ歩（ポイント探し）

この活動は、幼児から低学年向きで、写真をもとに園内のポイントを宝探しのように探します。こども達は園内をいつもより熱心に見て回るため、写真のポイントだけではなく、様々な自然にも触れあうことができる活動です。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下だけの場合は、各グループまたは、実施場所の数か所に大人を配置しましょう）

実施人数　：　制限なし
所要時間　：　１時間～１時間３０分程度
場　　所　：　千里北公園内
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
- 写真シート（原紙）
- 地図（原紙）
- クリップファイル
- 筆記用具

必要資料ダウンロード

［団体で用意していただくもの］
- 写真シートのコピー（各グループ）
- 地図のコピー（各グループ）
- 筆記用具
- 動きやすい服装
- 公園の下見とスタッフの配置計画など

進め方　例：　①ルールを説明しスピードの競争ではないことを強調しましょう。
（グループで行動することを強調する）
②終了時間と集合場所を連絡しましょう。トイレの場所も確認しておきましょう。
③写真シートと千里北公園の地図、筆記用具、クリップファイルを各グループに渡したらスタートです。
④終了時間になったら、決めておいた集合場所に集まりましょう。
（時計がない場合は、大人が回りながら終了を告げ集合場所へ誘導）
⑤時間があれば、グループ毎に感想を聞くなど振り返りをしましょう。

※あらかじめ公園の出入口など危険と思われる場所に大人を配置しておくとより安全に進められます。
※ポイントをつくり、クイズやジャンケンをして負ければ3分休憩など、工夫をすることでより楽しい活動にすることができます。

そ の 他　：暑い時期はお茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。
活動中は、他の利用者の迷惑にならないように注意も必要です。

目指せわくわくの郷（フォトラリー）

この活動は、阪急北千里駅からわくわくの郷までの道のりを、写真を手掛かりに進みます。グループでドキドキしながら話し合うことで、意欲的な活動や、興味を引き出します。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下だけの場合は、各グループまたは、実施場所の数か所に大人を配置しましょう）
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　３０分～１時間３０分程度（人数による）
場　　所　：　北千里駅～わくわくの郷までの指定されたルート
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
・プログラムシート及び写真シート（原紙）
・クリップファイル

必要資料ダウンロード

［団体で用意していただくもの］
・グループ数分の写真シートのコピー
・動きやすい服装
・道の下見とプログラム時の途中路のスタッフの配置計画など

進め方　例：　①駅を降りたら歩道橋の上で待機します。（一般の方への配慮をお願いします。）
②グループ毎にスタート地点へ誘導し、ルールを説明してスタートします。
③3～5 分ごとにグループを出発させましょう。
（グループ数により、間隔を調整しましょう。）
④わくわくの郷に全員到着すると終了です。時間があれば、グループ毎に感想を聞くなど振り返りをしましょう。

※あらかじめ横断歩道など危険と思われる場所に大人を配置しておくとより安全に進められます。
※ポイントをつくり、クイズやジャンケンをして負ければ3分休憩など、工夫をすることでより楽しい活動にすることができます。

そ の 他　：　千里北公園東部地区に入ります。（開園１０時～１６時３０分）
暑い時期はお茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。

竹林浴ハイキング（フォトラリー）

このハイキングは、「ぶらっと吹田」花と緑、水めぐる遊歩道の竹林散策コースの一部を歩きます。写真を参考に進むので、こどもたちだけでも歩けます。竹林の道を歩きながら「竹林浴」をしつつ、いろんなものを見たり、竹林の状況の違いなどがコース上にあり、人が自然と共生する関わりの一部を感じることができます。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下だけの場合は、各グループまたは、実施場所の数か所に大人を配置しましょう）

所要時間　：　３０分～１時間３０分程度（人数による）

場　　所　：　北千里駅からわくわくの郷まで

準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
- プログラムシート及び写真シート
- クリップファイル

［団体で用意していただくもの］
- グループ数分の写真シートのコピー
- 動きやすい服装
- 道の下見とプログラム時の途中路のスタッフの配置計画など

必要資料ダウンロード

（正門出発）

（わんぱく門出発）

進め方　例：　①グループ毎にスタート地点へ誘導し、写真シートとクリップファイルを渡し、フォトラリーのルールを説明してスタートします。
②3~5 分ごとにグループを出発させましょう。
③わくわくの郷に全員到着すると終了です。時間があれば、グループ毎に感想を聞くなど振り返りをしましょう。

※あらかじめ横断歩道など、危険と思われる場所に大人を配置しておくとより安全に進められます。
※ポイントをつくり、クイズやジャンケンをして負ければ３分休憩など、工夫をすることでより楽しい活動にすることができます。

そ の 他　：暑い時期は、お茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。
遊歩道であり、他の通行の人や人家の迷惑にならないように注意も必要です
蜂など危ない生き物がいる季節は注意してください。

箕面大滝ハイキング

北摂の名所の一つである箕面大滝を目指すハイキングです。
道のりは、舗装された道を設定していますので、こどもも安心して歩くことができます。また、四季折々の自然を感じることができ、特に秋の時期には、紅葉で彩られた鮮やかな景観が楽しめます。

対　　象　：　小学生以上
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　３時間～5 時間程度
場　　所　：　わくわくの郷～箕面駅～箕面大滝
準 備 物　：　［センターで用意しているもの］
・ハイキングマップ

［個人で用意していただくもの］
・運動しやすい服装
・はき慣れた靴

進め方　例：　①ハイキングマップをもとに、阪急箕面駅（約 1 時間 30 分）を目指します。
②阪急箕面駅から滝までは１本道になっています。（約 1 時間）
③道沿いには、土産物店や足湯などもありますので、時間に応じてお楽しみ下さい。

そ の 他　：　グループに分かれて進めることもできます。
引率者の方は、全体の状況を把握できるようにしてください。
蜂など危ないものがいる季節は注意してください。（大滝付近の猿には十分注意してください。）
道路を横断する際には、車の往来に注意してください。
お茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。

勝尾寺ハイキング

勝運と厄除けの寺「勝尾寺」を目指すハイキングです。
ハイキングの途中には、景色を見下ろせる場所や少人数の場合お弁当を食べられる場所もあります。
自然を満喫した後に、勝尾寺を参拝し、勝運をあげてみてはいかがでしょうか。

対　　象　：　小学生以上
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　３時間半～5 時間程度（勝尾寺から路線バス乗車の場合）
場　　所　：　わくわくの郷～勝尾寺
準 備 物　：　［センターで用意しているもの］
・ハイキングマップ

［個人で用意していただくもの］
・運動しやすい服装
・はき慣れた靴

進め方　例：　①ハイキングマップをもとに、勝尾寺を（約２時間半）目指します。
②勝尾寺での参拝には入館料は 400 円が必要です。
※参拝されるかは各団体でお考え下さい。
③勝尾寺から阪急北千里駅までの路線バスをご利用いただけます。

そ の 他　：　グループに分かれて進めることもできます。
引率者の方は、全体の状況を把握できるようにしてください。
蜂など危ないものがいる季節は注意してください。
道路を横断する際には、車の往来に注意してください。
お茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。
途中にトイレがあるので、安心してハイキングに出かけることができます。

わくわくの丘ハイキング

都会を少し離れて、のんびりとした雰囲気を味わえるハイキングです。
道のりは、舗装された道を設定していますので、こどもも安心して歩くことができます。
また、目的地には丘があり、北摂の景色を一望できます。

対　　象　：　小学生以上
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　２時間～３時間程度
場　　所　：　わくわくの郷～わくわくの丘
準 備 物　：　［センターで用意しているもの］
・ハイキングマップ

［個人で用意していただくもの］
・運動しやすい服装
・はき慣れた靴

進め方　例：　①ハイキングマップをもとに、わくわくの丘（約１時間）を目指します。
②わくわくの丘は高台にあるので、一面に広がる景色を見ることが出来ます。

そ の 他　：　グループに分かれて進めることもできます。
引率者の方は、全体の状況を把握できるようにしてください。
蜂など危ないものがいる季節は注意してください。
道路を横断する際には、車の往来に注意してください。
お茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。
途中にトイレがあるので、安心してハイキングに出かけることが出来ます。

自然観察路

自然観察路は、五感を使って自然を体験する活動です。四季を通じてセンター内の樹木を観察することで自然と楽しく触れ合うことができます。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下だけの場合は、各グループまたは、実施場所の数か所に大人を配置しましょう）

実施人数　：　最大 30 名程度
※多人数の場合は事前にご相談ください。

所要時間　：　３０分～1 時間程度

場　　所　：　わくわくの郷センター内

準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
- 観察シート《本館コース》（各グループ分）
- 解答用紙（原紙）
- 筆記用具

［団体で用意していただくもの］
- 解答用紙（各グループ分）
- 筆記用具
- 動きやすい服装

必要資料ダウンロード

進め方　例：　①シートをグループ毎に配り、スタートします。
②地図を見ながら、1～10 番の札を順に進んで行きましょう。
③番号の札のところに着いたら、観察シートに書いてある植物を探しましょう。
④時間があれば、グループ毎に感想を聞くなど振り返りをしましょう。

そ の 他　：　指定された活動範囲で実施しましょう。
むやみに樹木や草花を採取したり、傷つけることはやめましょう。
活動するときには、ケガに十分注意しましょう。
暑い時期はお茶などの飲み物及び帽子などを必ず持たせましょう。

自然観察ビンゴ

この活動は、五感を使って自然を体験する活動です。樹木や森林、動植物などの自然環境について体感し、身近な自然と遊ぶことで四季を通じて自然と楽しく触れ合うことができるおすすめの活動です。

春を感じるもの	黄色いもの	動物がいた証拠
ウグイスの鳴き声	大きなもの	トゲトゲのもの
風に飛ぶもの	不思議なもの	青いもの

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下だけの場合は、各グループまたは、実施場所の数か所に大人を配置しましょう）

実施人数　：　何人でも可能

所要時間　：　１時間分～１時間３０分

場　　所　：　サイト内や千里北公園

準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
- プログラムシート《春夏.Ver》（原紙）
- プログラムシート《秋冬.Ver》（原紙）
- クリップファイル

［団体で用意していただくもの］
- プログラムシートのコピー（各グループ）
- 筆記用具
- 動きやすい服装

必要資料ダウンロード

(春夏 ver)

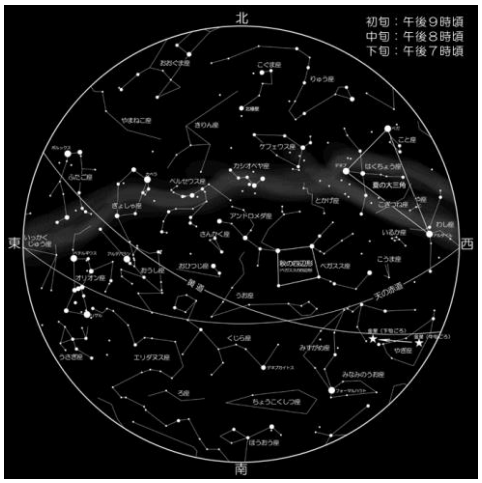
(秋冬 ver)　(無地 ver)

進め方　例：①ビンゴのルールを説明し、終了時間と集合場所を連絡しましょう。トイレの場所も確認しておきましょう。
②ビンゴシートをグループ毎に配り、スタートします。
③見つけた自然のものに〇をつけていきましょう。
④所定の時間内で、たて、よこ、ななめ、など多くのビンゴを完成させましょう。
⑤終了時間になったら、決めておいた集合場所に集まりましょう。
（時計がない場合は、大人が終了を告げ集合場所へ誘う）
⑥時間があれば、グループ毎に感想を聞くなど振り返りをしましょう。

そ の 他　：　指定された活動範囲で実施しましょう。
むやみに樹木や草花の採取や、傷つけることはやめましょう。

星空ウォッチング

太古の昔から人々は空を見上げ、きらめく星々の明かりを眺めることで、方角や季節を知ったものでした。またたく星々をみつめ、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか？



対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
実施人数　：　最大４０名程度
　　※望遠鏡の数には限りがあります。
所要時間　：　３０分～１時間
　　※長時間になると、集中力がなくなります。
　　※季節によっては、防寒着が必要になります。
場　　所　：　各広場（グラウンド）
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
　　天体望遠鏡、双眼鏡、星座版（３０枚）、ブルーシート

　　［団体で用意していただくもの］
　　懐中電灯、防寒着

進め方　例：　①プログラム前にはトイレを済ませておきましょう。
　　②星についてや宇宙についての話を導入として行い、子供たちの興味を引き出しましょう。
　　③星座版の使い方を説明し、星座を見つけてみましょう。
　　④－１　次にブルーシートに寝転がり全天を見回すことができます。
　　（双眼鏡の貸し出しは、可能です）
　　④－２　時間があれば、天体望遠鏡（１３ｃｍ反射望遠鏡）でも見ることができます。（ただし、スタッフが指導します）
　　※双眼鏡、天体望遠鏡どちらも予約が必要です。

そ の 他　：　夜間の道は暗いので注意して歩きましょう。
　　単独行動はしないようにしましょう。

キャンプファイア

火の粉を巻き上げ、天まで昇る炎。炎は原始の時代から人々の生活を照らしてきましたが、現代の生活では見る機会の少ない体験です。炎を前に、友だちと歌い楽しむ時間は、キャンプの夜のプログラムとしてなくてはならないものです。火を囲みながら有意義なひとときを過ごせるよう、形式にとらわれず、また対象や目的にあわせて計画をすすめてください。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
実施人数　：　数家族から最大１００名程度
所要時間　：　４５分～１時間３０分
※長時間になると、集中力がなくなります。
場　　所　：　Ａサイト、わんぱくサイト、グラウンド、本館棟裏、多目的ホール
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
トーチ、灯油、火バサミ、バケツ、薪
※薪は実費で販売します（太薪１束 650 円、細薪１束 400円）
※薪の量は内容や時間等によって変わりますが、太薪５～８束、細薪１～２束程度を目安にご計画ください。
※薪組みの依頼があればわくわくの郷スタッフがお手伝いします。

［団体で用意していただくもの］
新聞紙、ライター、懐中電灯、軍手、服装は長袖・長ズボンが望ましいです。

役　　割　：　［ファイアマスター（営火長）］１名
始まりや終わりの言葉、点火や分火などの役割を務めます。団体の代表者が担当するとよいでしょう。
［エールマスター（司会者）］１名
ファイアの司会、進行役を務めます。
［ファイアキーパー（営火係）］１～２名
点火から終了まで火の管理をします。
［トーチキャリアー（火の神）］１～数名
トーチを運んだり、点火をします。内容に合わせ呼び名をつけましょう。
［プログラムリーダー］２～３名
エールマスターを補助し、ゲームや歌で全体の雰囲気を盛り上げます
※依頼によってわくわくの郷スタッフがお手伝いします。（事前相談が必要）
そ の 他　：　みんなでキャンプファイアを盛り上げるように心がけましょう。
火の中に物を投げ込まないでください。
ファイア場までの道は暗いので注意して歩きましょう。
単独行動はしないようにしましょう。

キャンドルファイア

キャンドルのほのかな明かりは、私たちをおごそかな気持ちにさせてくれます。このような小さな炎を前にして、友だちとともに歌い楽しむ時間は、束の間のやすらぎを与えてくれ、心に残る活動となるでしょう。また、室内プログラムなので天候に左右されず、雨天時のキャンプファイアの代替プログラムとしても有効です。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
実施人数　：　最大８０名程度
所要時間　：　４５分～１時間
　※長時間になると、集中力がなくなります。
場　　所　：　多目的ホール、研修室
　※付帯施設をご利用の場合は、別途施設使用料がかかります。
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
　燭台、トーチ（点火用ろうそく）

［個人(団体)で用意していただくもの］
　ろうそく（小)、アルミホイル

　※ろうそくの販売もしています。
　燭台用・・・・・・・一人１５円
　燭台＋手持ち用・・・一人２５円

役　　割　：　［キャンドルマスター（営火長)］１名
　始まりや終わりの言葉、点火や分火などの役割を務めます。団体の代表者が担当するとよいでしょう。
［エールマスター（司会者)］１名
　ファイアの司会、進行役を務めます。
［キャンドルキャリアー（火の神)］１～数名
　点火の火を運んできます。内容に合わせ呼び名をつけましょう。
［プログラムリーダー］２～３名
　エールマスターを補助し、ゲームや歌で全体の雰囲気を盛り上げます
　※ご依頼があればわくわくの郷スタッフがお手伝いします。

そ の 他　：　みんなでキャンドルファイアを盛り上げるように心がけましょう。

杉焼板クラフト　かべかけ

杉板の表面を焼き、新聞紙でススがとれるまできれいに磨き、木目を浮かび上がらせて、壁飾りや名札をつくります。ペイント塗料などで文字や絵を描いて、自分だけのオリジナルな記念品をつくりましょう。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　１時間～１時間 30 分
場　　所　：　火の取り扱いが可能な場所（自炊場、ファイア場など）
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
新聞紙、バーナー、はさみ、ペンチ、火ばさみ　等
【販売価格】
・焼板セット　　４００円（杉板１枚、金具２個、ひも１本、ペイント、燃料）

［個人で用意していただくもの］
運動しやすい服装、軍手（綿１００％）

進め方　例：　①バーナーで、杉の板を焼きます。
②新聞紙を使って、板の周りについているススを手につかなくなるまで擦って、おとします。
③金具とくみひもを取りつけます。
④ペイント塗料を使って、自由に絵や文字を描いて完成です。

そ の 他　：　クラフト材料は、団体で用意していただいてもかまいません。
火の取り扱い、やけどには十分に注意しましょう。

杉焼板クラフト　キーホルダー

　杉板の表面をあぶって、新聞紙でススがとれるまできれいに磨いて木目を浮かび上がらせます。金具と紐をつけてオリジナルキーホルダーを作りましょう。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
　　（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　30 分～1 時間
場　　所　：　火の取り扱いが可能な場所（自炊場、ファイア場など）
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
　　新聞紙、ガスバーナー、はさみ、ペンチ、火ばさみ　等
　　【販売価格】
　　・焼板クラフトセット　　４００円
　　（杉板１枚、金具１個、くみひも１本、ガスバーナー）

　　［個人で用意していただくもの］
　　運動しやすい服装、軍手（綿）、ペイント塗料（ポスターカラーなど）

進め方　例：　①ガスバーナーで、軽く焼き色がつく程度に杉の板をあぶります。
　　②新聞紙を使って、ススが手につかなくなるまで擦りおとします。
　　③金具とくみひもを取りつけて完成。
　　※ペイント塗料を使って、自由に絵や文字を描いても素敵に仕上がります。

そ の 他　：　火の取り扱い、やけどには十分に注意しましょう。

まが玉クラフト

まが玉とは古代の装飾品（アクセサリー）で、持ち主を守る「お守り」として、身につけられていました。加工のしやすい「ろう石」を使って、自分だけのオリジナルな記念品をつくりましょう。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　６０名程度
所要時間　：　１時間３０分～２時間
場　　所　：　どこでも（室内でも可能）
※付帯施設をご利用の場合は、別途施設使用料がかかります。
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
鉛筆、ヤスリ、キリ、角盆、ボール　等
【販売価格】
・まが玉セット　３５０円
（ろう石１個、ビーズ１個、くみひも１本、耐水ペーパー１枚）

［個人で用意していただくもの］
多少汚れてもよい服装、軍手（綿）

進め方　例：　①ろう石に、まが玉の形を下書きします。
②キリでくみひもを通すための穴を開けてから、ヤスリを使ってまが玉の形を削り出していきます。
③形ができたら、耐水ペーパーを水で濡らしながら、ろう石を擦って表面のキズを消していきます。
④最後に、くみひもとビーズをつけて完成です。

そ の 他　：　ろう石は硬いところに落とすと、ヒビ割れますので気をつけてください。
耐水ペーパーは乾いてきたら、バケツの水につけてください。

My箸クラフト

漆（うるし）の塗られた箸を砥石と耐水ペーパーでみがくと色鮮やかな柄や貝がらが浮かび上がってきます。最後に箸袋に名前や絵を描いて、世界に一つだけのマイ箸をつくりましょう。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　１００名程度
所要時間　：　１時間～１時間３０分
場　　所　：　どこでも（室内でも可能）
※付帯施設をご利用の場合は、別途施設使用料がかかります。
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
砥石、色鉛筆、角盆、ボール、ぞうきん　等
【販売価格】
・マイ箸セット　３５０円（箸材１膳、箸袋１枚、耐水ペーパー１枚）

［個人で用意していただくもの］
多少汚れてもよい服装、軍手（綿）

進め方　例：　①砥石を水にぬらし、お箸の表面（４面）を削ります。
②お箸の２面に、貝がらが３つ（長方形で銀色）がでます。
③耐水ペーパーできれいに磨きます。
④箸袋に名前や好きな絵を書き、お箸を入れたら完成です。

そ の 他　：貝がらが浮かび上がってきたら、磨きおえてください。磨きすぎると元の木が出ててきてしまします。
漆の塗料は、表面から順番に「黒」「赤」「黄」「緑」に塗られています。
砥石や箸は、ボールの水にさらして、表面の削りカスを落としながら磨いてください。

バードコールクラフト

バードコールって知っていますか？ネジのきしむ音で鳥のさえずりのような音を出して鳥を呼ぶものです。鳴らすと鳥たちがどんな仲間が来たのか気になってあなたの近くに寄ってきますよ。

対　　象　：　４才以上
（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　４０名まで（５人前後のグループで進めます）
所要時間　：　１時間程度
場　　所　：　どこでも（室内でも可能）
※付帯施設をご利用の場合は、別途施設使用料がかかります。
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
ハンドドリル、固定治具、ペン　等
【販売価格】
・バードコールクラフトセット　　３５０円
（木材、アイボルト１本、くみひも１本）

［個人で用意していただくもの］
多少汚れてもよい服装

進め方　例：　①治具に木材を固定し、木の平らな面にドリルで穴を開ける。（自然木の場合は中心を少しずらす）
②穴にアイボルトをねじ込み、締めたり緩めたりする。
③アイボルトにくみひもを通します。
④最後にペンで装飾してできあがり。

そ　の　他：ハンドドリルは堅いので、上から押さえる人、ハンドルを回す人と協力して行ってください。
軸がぶれると穴が大きくなって音が鳴らなくなります。

森のクラフト

山にはたくさんの小枝や葉っぱがあります。これらを集めてきて、思い思いの形に整え、自分だけのオリジナルな記念品をつくりましょう！

小枝やどんぐりを使ったペンダントにアクセサリー、ワッペン、キーホルダーなど、何をつくるかはみんなのアイディア次第です。

団体でテーマを決めて、作品作りをし、発表会をするとよいでしょう。こどもたちの創造性を養う上でとてもよい活動です。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　制限なし
所要時間　：　１時間～２時間
場　　所　：　どこでも（室内でも可能）
※付帯施設をご利用の場合は、別途施設使用料がかかります。
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
ボンド、新聞紙、はさみ、ペンチ、のこぎり　ペン　等
【販売価格】
・小枝のクラフトセット　　２５０円
（小枝やどんぐりなど、金具２個、くみひも１本）

［個人で用意していただくもの］
運動しやすい服装、軍手（綿）

進め方　例：①森へ小枝を集めに出かけます　（小枝のクラフトセットを利用する場合は不要）
②小枝を使って、思い思いの形に整えていきます。ペイントをしたり、ひもをつけたり、自分だけのオリジナルなものをつくりましょう！
③作品の発表会をしましょう。

そ の 他　：　クラフト材料は、団体で用意していただいてもかまいません。
材料集めの際、他団体の活動の妨げにならないよう注意してください。
森へ入るときには、ケガに十分注意しましょう。

マイしおりクラフト（草花のたたき染め）

植物の葉や花を叩き、色や形を写しとるクラフトです。葉や花の形を観察するのに最適な活動です。手軽に誰でも楽しめるため、幼児から大人まで幅広い対象で実施できるプログラムです。

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
（ただし、小学校低学年以下はグループ毎に大人の補助が必要です）
実施人数　：　30 名まで
実施時期　：　春～初秋までが最適
所要時間　：　30 分～１時間程度
場　　所　：　工作室・自炊場など
※付帯施設をご利用の場合は、別途施設使用料がかかります。
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
かなづち、たたき台、新聞紙、穴あけパンチ、ラミネーター　色鉛筆　等
【販売価格】
・マイしおりクラフトセット　　２５０円
（和紙２枚、ラミネートフィルム２枚、リボン２本）

［個人で用意していただくもの］
運動しやすい服装、軍手（綿）

進め方　例：　①材料集めに出かけます。
②新聞紙の上に写し取り用の和紙を置き、その上に採取した葉を置きます。
このとき葉の裏側（葉脈側）を下にします。
③その上に当て物用紙として新聞紙を置きます。
④かなづちで小刻みに何度も叩きます。叩く時にはたたき台の上で行いましょう。
⑤当てもの用紙に色がにじんだら完成です。
⑥ラミネートフィルムに挟み、ラミネートに通します。
⑦穴あけパンチで穴を空け、リボンを通して完成です。

そ の 他　：　材料集めの際、他団体の活動の妨げにならないよう注意してください。
水分が豊富で葉が柔らかいものがオススメです。
花の場合は形が崩れるので、花びら一枚ずつがオススメです。

森のエコバック

自然の葉っぱを使って、エコバックにスタンプを押していくクラフトです。
手軽に出来る内容なので、小さなこどもたちも楽しく体験できるクラフトになっています。
世界に一つだけのエコバックを作ってみませんか？

対　　象　：　こどもから大人まで誰でも
実施人数　：　30 名まで
所要時間　：　１時間程度
場　　所　：　工作室・自炊場など
準 備 物　：　［わくわくの郷で用意しているもの］
　　スタンプ台、ペン、新聞紙、ぞうきん、オリジナルスタンプ　等
【販売価格】
・森のエコバックセット　　３５０円（A4 サイズのエコバック）

［個人で用意していただくもの］
　運動しやすい服装

進め方　例：　①材料集めに出かけます。
②材料をスタンプ台に乗せ、エコバックに押し当てて模様をつけていきます。
③ペンで書き加え、乾かします。
④手にインクがつかなくなれば完成です。

そ の 他　：　材料集めの際、他団体の活動の妨げにならないよう注意してください。
異なる種類の葉を集めると、色々な形が出来るのでおすすめです。

メモ

あいす・おおさかは、『Fun　to　Share』に参加しています

利用に際しては、節電・節水にご協力をお願いします。

施設の管理運営

一般財団法人
大阪市青少年活動協会
あいす・おおさか

［住所］　〒540-0006　大阪市中央区法円坂１－１－３５
アネックスパル法円坂４Ｆ

TEL　０６－６９４２－０４１０　FAX　０６－６９４９－３１８２

HP　https://ays-osaka.jp/